

平成30年第6回教育委員会

定例会議事録

平成30年6月5日

東久留米市教育委員会

平成30年第6回教育委員会定例会

平成30年6月5日(火) 午前10時00分開会
市役所7階 703会議室

議題 (1) 諸報告

- ①平成30年第2回市議会定例会について
- ②東久留米市立学校教員の働き方改革検討委員会の設置について
- ③その他
 - 東久留米市教育振興基本計画策定等委員会設置要綱の一部改正について
 - 教育委員からの報告

出席者(4人)

教 育 長	園 田 喜 雄
委 員 (教育長職務代理者)	尾 関 謙 一 郎
委 員	細 田 初 雄
委 員	宮 下 英 雄
委 員	馬 場 そ わ か

東久留米市教育委員会会議規則第13条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

教 育 部 長	森 山 義 雄
指 導 室 長	宍 戸 敏 和
教 育 総 務 課 長	小 堀 高 広
学 務 課 長	島 崎 修
生 涯 学 習 課 長	森 田 吉 輝
図 書 館 長	佐 藤 貴 泰
主幹・統括指導主事	荒 井 友 香

※主幹・統括指導主事は欠席

事務局職員出席者

庶 務 係 長	鳥 越 富 貴
---------	---------

傍聴者 4人

◎開会及び開議の宣告

(開会 午前10時00分)

- 園田教育長 これより平成30年第6回教育委員会定例会を開会します。委員は全員出席です。昨日から始まりました第2回市議会定例会において、同意議決の上、馬場そわかさんが市長から教育委員に任命されました。本日の教育委員から出席していただいています。馬場委員から一言ご挨拶をお願いしたいと思います。
- 馬場教育委員 教育委員として東久留米の子どもたちのために尽力させていただけたらと思っています。保護者枠でするので専門家ではないため、皆様のご協力を得ながら勉強していきたいと思っています。どうぞご指導よろしく申し上げます。
- 園田教育長 ありがとうございます。

◎議事録署名委員の指名

- 園田教育長 本日の議事録の署名は細田委員にお願いします。
- 細田教育委員 はい。

◎傍聴の許可

- 園田教育長 傍聴の許可に入ります。傍聴の方はいらっしゃいますか。
- 鳥越係長 いらっしゃいます。
- 園田教育長 それでは、お入りいただきます。暫時休憩します。

(休憩 午前10時01分)

(傍聴者 入室)

(再開 午前10時02分)

傍聴の方にお知らせします。お配りしている資料ですが、ご入り用の場合はお持ち帰りいただけます。

◎議事録の承認

- 園田教育長 議事録の承認に入ります。5月9日に開催した第5回定例会の議事録について、ご確認をいただきました。特に修正のご連絡はありませんでしたが、よろしいでしょうか。
(「はい」の声あり)
- 異議なしと認め、議事録は承認されました。

◎諸報告

- 園田教育長 日程第1、諸報告に入ります。「①平成30年第2回市議会定例会について」から説明をお願いします。
- 森山教育部長 「平成30年第2回市議会定例会について」説明します。本日は資料を用意させていただきました。会期日程表以下、提出議案一覧表、議案第33号の議案、続いて一般質問の一覧表、請願付託表、30請願第12号と陳情についての一式です。

資料1枚目から説明します。平成30年第2回定例会の会期日程ですが、6月8日から21日までの18日間となりました。一般質問や常任委員会などの日程は資料のとおりです。一般質問は6月6日から11日まで、総務文教委員会は13日、最終本会議が6月21日と

なっています。続いて資料二つ目、提出議案です。9議案が上程され、議案第33号から議案第40号までの8議案については昨日4日に審議され、採決されました。その中で教育委員会に関係する内容を報告します。「議案第33号 東久留米市教育委員会委員の任命について」です。東久留米市教育委員会委員に欠員が生じていたため、馬場そわか氏を教育委員として任命するため議会の同意をお願いするものでしたが、全員賛成で同意されました。続いて、「議案第40号 無線LANアクセスポイントの購入契約の締結について」です。本案は市内小・中学校20校に設置します無線LANアクセスポイントを453台購入する契約締結をするもので、5月23日に指名競争入札を行い、富士電機ITソリューション株式会社が落札し、5月30日に仮契約が成立したため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条に基づき、議会の議決を求めるもので、全員賛成で可決されました。続いて、一般質問についてです。教育委員会に関する通告は19名中14名の議員からありました。答弁概要については次回の教育委員会で報告します。続いて、請願・陳情についてです。請願については8件が常任委員会に付託され、教育委員会関係では「請願第12号 「今後の東久留米市立図書館の運営方針」の見直しを求める請願」があります。この請願は13日の総務文教委員会に付託され、審議されることとなりました。陳情については一覧表をご覧ください。今後の審議内容等については次回報告したいと思います。

○園田教育長 ご質問等がありますか。よろしいですか。

なければ、続いて「②東久留米市立学校教員の働き方改革検討委員会の設置について」説明をお願いします。

○小堀教育総務課長 「東久留米市立学校教員の働き方改革検討委員会の設置について」報告します。いわゆる学校における働き方改革については、これまでも教育委員会でさまざま情報提供等してきましたが、本年2月に東京都教育委員会が策定しました「学校における働き方改革推進プラン」を受け、本市においても今年度中に実施計画を策定することとしています。本検討委員会は計画策定の参考とするため教員から意見を聴取し、検討に資する議論を行うことを目的としていることから、委員会の委員は資料の設置要綱第3にありますように、小・中学校校長、同副校長、同教員、同都費負担事務職員の計8名に加え、関係する教育部管理職5名の計13名をもって構成します。なお、委員長には教育部長が、副委員長には教育部参事がつき、会議を運営していきます。また、会議の開催は9月くらいを目途に3回程度開催していきたいと考えています。教育委員の皆様には引き続き適宜報告していきます。

○園田教育長 ご質問はありますか。

○宮下教育委員 委員の構成については「(9) 教育長が指名する市立小・中学校都費負担事務職員1名ずつ」とありますね。以前「小・中学校の学校サポート業務あり方検討委員会報告書」を検討された委員会には都事務が入っていなかったもので、その時には意見を述べさせていただきました。今回は入っていて、よい委員構成だと思います。

○園田教育長 ほかにありますか。よろしいですか。

なければ、事務局からほかに何かありますか。

○小堀教育総務課長 「その他」ということで、教育振興基本計画策定等委員会設置要綱の一部改正について報告します。資料をご覧ください。今年度中に見直し策定を予定しています、平成31年度から平成35年度までの5カ年を計画期間とする「第二次教育振興基本計画」

については、現計画の実施状況をはじめ、現時点における新たな課題あるいは施策体系の見直しなどに関し、この間、教育委員の皆様とも協議し、さまざまなご意見をいただけてきました。

今般の同計画策定等委員会設置要綱の具体的な改正箇所について説明します。2枚目をご覧ください。改正箇所は第8の（意見の聴取等）の部分ですが、今後、同計画の骨子案ができた段階で、市民の皆さんのご意見を伺うために開催する懇談会の委員構成に関する規定の表現を見直しています。表の右側になりますが、従前は関係団体等の名称を具体的に表記していましたが、これを左側のように、ある程度分野でまとめて表記するように見直しをしています。なお、念のため申し添えますと、これにより人数に変更があるということはなく、従前どおり最大13名で構成することを想定しています。また、公募による委員選出を予定していますが、これについては今月15日号の広報にて募集記事を掲載していきます。

○園田教育長 ただいまの説明に関して何かご質問はありますか。よろしいですか。

それでは委員から何かありますか。

○宮下教育委員 2点報告します。1点目は「平成30年度東久留米市小・中学校授業改善研究会（全体会）」に細田委員と一緒に出席しました。その概要等について報告します。

5月16日に生涯学習センターにて、東久留米市の全小・中学校の管理職と教諭が一堂に集い、児童・生徒の学力向上を図るためには教員の授業力を高めることが大切であるという、授業研究を中心とした研究の方向性とその組織運営についての基盤づくりに関する発表がありました。初めに、園田教育長から挨拶があり、その中で子どもの学習の習慣化を目指す努力、子どもの学力調査や体力調査などの実態を直視し、子どもの適性や能力に即した学習対応への努力、子どもの変容の姿、子どもから学ぶという視点でPDCAに即した授業改善を期待したい旨の3点が語られました。学習と生活習慣づくりは学校教育でその基盤をつくりたいという願いであり、子どもの実態に即した授業の多様化への期待、さらにはPDCAによる分析と改善は教師職の命と考えられます。教育長の教育への熱き思いを強く感じ、授業改善研究のよきスタートとなった気がしました。続いて、小・中学校各校長会から挨拶がありました。お二人からは「研究会への成果を他校に還元してほしい。新学習指導要領ではたくさんのおトピックがある。プログラミング教育などがその一つであるが、今まで語られてきた生きる力を否定するものではない。主体的・対話的、深い学びを全ての子どもの姿でイメージ化を目指してほしい。小・中合同の研究会を2回設定している。9年間を自覚した小・中の連携への意識形成である」などが語られました。研究会の目的と学習指導要領の移行期があることを忘れずに、その趣旨に即するよう積極的な授業改善への期待と教育の不易と流行をしっかりと理解しながら、平成最後の年度研究に心を込められていました。続いて、指導室長から、今年度の研究の方向性についての基調講演がありました。1単位時間の授業をどう組み立てるか、問題の提示、課題の把握、問題解決の計画、自力解決、解決の実施検討、まとめなど、授業の各プロセスにおける指導の重点を具体的に説明がなされました。特に、授業の振り返りについて、学びの成果を実感させるとともに、学んだことや意欲、問題意識等、次につなげられるような視点の設定や、その時間の授業のキーワードや学習用具を用いて学びを振り返らせる工夫などについて、授業事例を示しながら分かりやすく説明されました。児童・生徒の学力向上を図るには、1時間ずつの授業力を高めることが不可欠であることを終始強調され、指導と評価の視点に立った授業改善の積み重ねを語られました。講演を

拝聴しながら、授業のイメージ化・見える化が図られてきたような気がしました。各研究部を担当される校長、副校長の指導、運営へのご尽力に感謝を申し上げるとともに、ご期待を申し上げます。

2点目です。「平成30年度東京都市町村教育委員会連合会第62回定期総会」が5月22日に東京自治会館で開催され、細田委員と一緒に出席しましたので報告します。開会宣言、会長挨拶から始まり、来賓、祝辞、表彰、議長団選出、議事等の総会日程の全てが滞りなく行われ、議事の全てが可決、承認されました。議案第6号は理事の承認についてでしたが、尾関謙一郎委員が承認されました。議案第7号の会計監査の承認については細田初雄委員が承認されました。東久留米市から2名の委員が承認され、教育連合会での活躍が期待されるようです。以上の2点について、感想を含めて報告させていただきました。

◎閉会の宣告

○園田教育長 以上をもちまして、平成30年第6回教育委員会定例会を閉会します。

(閉会 午前10時17分)

東久留米市教育委員会会議規則第28条の規定により、ここに署名する。

平成30年7月9日

教育長 園田 喜雄 (自署)

署名委員 細田 初雄 (自署)